



Kurt 先生から、応援メッセージが届きました！



Kurt Kanazawa

以前、英語講座で指導してくれた Kurt 先生を覚えていますか？今回初めて英語劇にチャレンジするみんなのために演劇の素晴らしさをエッセイに書いて送ってくれました。英語劇に限らず、今回劇をする小学部の皆さんも、ぜひ読んでみてください。

Kurt 先生は日系4世のアメリカ人で、現在はロサンゼルスで俳優業をされています。イタリアでも、マクドナルド等のCMやドラマ等で活躍されていました。エッセイでは、演劇の魅力、劇をして得られる3つの大切なことを、分かりやすく書いてくれました。授業で読解しましたが、こちらにも簡単に紹介させていただきます。Kurt 先生は、ミラノ日本人学校で日本人の子供たちに指導できたことを、大変喜んでいました。

学習発表会が終わったら、お返しに子供たちが書いたエッセイの感想文を送りたいと思います。以下は、日本語の要約です。



僕が演劇を始めたのは、小学生の時でした。最初は「不思議の国のアリス」のドードー役。以来、いろんな役を先生にもらいました。演劇をすることによって、世の中に目を向けてもらえず、不当に消えていく少数派の人たちの声を代弁しているような気持ちになり、そこから演劇に病みつきになっていきました。

劇をする上で学べることはたくさんありますが、特に大事なことは3つあります。

1つ目は、**自信がつくこと**。劇では、たくさんの観客の前で演技します。50人だろうが、数千人だろうが、観客の前で演じることは、君たちの後の人生で絶対に役に立ちます。それは大きな会議でかもしれないし、スポーツの大会かもしれない。もしかしたら、将来本当にメトロポリタンのオペラステージに立つようなこともあるかもしれない。でもどんな場であろうと、この経験は君に自信を与え、きっと役に立つと思います。

2つ目は、**チームワークの大切さ**。自分の力だけで達成できる目標もあるけど、世の成功や輝かしいキャリアは、他の人達と力を合わせることで手に入れられるものがほとんどです。劇をやっていると、監督、背景、編集、食事を支給してくれる人など、目に見えないところで多くの人たちの仕事に支えられているのが分かります。そういった人たちの存在を知り、一緒に作り上げていくという感覚は、君たちが将来なんらかの集団の中で生活し、活躍していくために非常に大切です。

3つ目は、**リサーチ能力**です。ドードーの役をするのに、ドードーという鳥を知らないでどうやって演技ができるでしょう？サムライの役をするのなら、黒澤明の「7人の侍」で三船敏郎を見ておくべきです。素晴らしいビジネスマンを目指すなら、柳井正やスティーブジョブのインタビューを聞いたほうがいいし、色んな意見を持った人と話したほうがいい。君が何かの役を演じるのであれば、その人の生きた時代のことや、話した言葉などを知ってください。そうやって、君の知識や思考能力が深まっていき、最高の演技ができるはずですよ。

君たちが、色々な場面で頑張っているのを見てきました。この劇の練習で得たことが、君たちのこれからの人生で役に立ちますように。

幸運を祈ります。そして、これが一番大切。**Have Fun!**

人気ドラマ「Grey's Anatomy」にて→

